

# 新型コロナウイルス感染症対応 日本医師会休業補償制度



医師をはじめとする医療従事者、事務職員が新型コロナウイルスに感染もしくは濃厚接触者となった場合に、対応のために支出した消毒費用等や一時的に閉院または外来閉鎖を余儀なくされた時の逸失利益、家賃などの継続費用を補償する制度です。

## 新型コロナウイルス感染症対応日本医師会休業補償制度のポイント

- 1 休診日を含む連続7日以上**の閉院となった場合に、**補償金の対象となります!**  
※患者の生命を守るために中断することができない診療行為(透析外来、往診、電話診療・オンライン診療、訪問診療(訪問看護を含む)、処方箋の発行など)のみ、継続した場合でも休業とみなして補償の対象とします。
- 対象施設は、**日本医師会会員が開設または管理する医療機関**(病院・診療所等)の他、**医療機関に併設された通所介護や訪問介護等を行う介護サービス事業所**です。
- 1施設あたりの補償額は、**医療機関(病院・診療所等)が最大100万円、介護サービス事業所が最大50万円**です。

**本制度は、7日以上**の閉院で**医療機関は最大100万円、介護サービス事業所は最大50万円**を上限に補償金を受け取ることができる制度です。

**皆さまの医療・介護サービス事業所経営の一助としてご活用ください。**

※税務処理上、掛金は全額損金(個人の場合は必要経費)計上、補償金は益金(個人の場合は事業所得)計上となります。

## 加入対象施設

<b>医療機関</b>	日本医師会会員が開設または管理する診療所・病院・健診センター・登録衛生検査所(医師会健診・検査センター含む)
<b>介護サービス事業所</b>	日本医師会会員が開設または管理する医療機関(病院・診療所)に併設*1された通所介護や訪問介護等を行う介護サービス事業所を対象とします。なお、新型コロナウイルス感染症の罹患時に休業が困難な入所(居)サービスのみを提供する事業所*2については、本制度の対象外となります。また、医療法人等と別法人格の介護サービス事業所も対象となります。

\*1「併設」とは、平成30年3月27日付、厚生労働省医政局長発出の「病院又は診療所と介護保険施設等との併設等について」の内容に準拠しています。

\*2 入所(居)サービスのみを提供する事業所とは、特別養護老人ホームや介護老人保健施設、介護医療院等の長期の入所(居)サービス提供のみを行う事業所をいいます。

※個人・法人ともに補償の対象です。また、医療機関で複数施設がある場合は、施設ごとに任意加入が可能です。なお、介護サービス事業所で、1つの建物内に複数の事業所登録をしている場合は、建物単位で1契約加入することで、万一、そのいずれかの介護サービス提供が停止した際に、補償金を受取ることができます(事業所登録単位で加入するものではありません)。

## 補償内容と補償金額(掛金)

<b>補償内容</b>	以下の2つをともに満たした場合に、補償金を受け取ることができます。
	<ol style="list-style-type: none"> <li>①日本医師会会員が開設または管理する医療機関または介護サービス事業所に勤務する医療・介護従事者(医療機関との兼任者を含む)が、新型コロナウイルスに感染もしくは濃厚接触者となること</li> <li>②医療・介護従事者の新型コロナウイルスの感染(濃厚接触)および消毒の実施に伴い、休診・休館日を含む<b>連続7日(7営業日ではない)以上</b>の閉院もしくは外来を全面閉鎖、介護サービス提供を停止すること</li> </ol>

※医療機関については、患者の生命を守るために中断することができない診療行為(透析外来、往診、電話診療・オンライン診療、訪問診療(訪問看護を含む)、処方箋の発行など)のみ、継続した場合でも休業とみなして補償の対象とします。また、介護サービス事業所についても、通所介護は休館し、中断することができない訪問介護や入所(居)サービス等を行った場合でも、休業とみなして補償の対象とします(建物内のいずれかの介護サービス提供を停止することになれば、補償の対象とします)。

<b>補償金額(掛金)</b>	1施設あたりの年間総支払限度額と掛金
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 医療機関: <b>最大100万円</b>(年間掛金: 48,000円)</li> <li>2 介護サービス事業所: <b>最大50万円</b>(年間掛金: 18,000円)</li> </ol>

※補償金は、直近の年間売上高(対象施設の売上高)から1日あたりの売上高を算出し、休業日数(最長30日までの休業を補償)と保険会社が定める約定支払割合を乗じて損害額を算出し、補償金額を上限に受取ることができます。なお、外部消毒業者を入れたことにより係る作業費用については補償の対象として、損害額に加算して計算します。

# 新型コロナウイルス感染症対応日本医師会休業補償制度加入申込みスケジュール

補償期間別掛金表				
補償開始日	掛金(1施設あたり)		WEB申込締切	掛金入金締切(*)
	医療機関	介護サービス事業所		
令和5年1月1日	48,000円	18,000円	令和4年12/28(水)16時	令和4年12/30(金)
令和5年2月1日	44,000円	16,500円	令和5年1/29(日)16時	令和5年1/31(火)
令和5年3月1日	40,000円	15,000円	令和5年2/26(日)16時	令和5年2/28(火)
令和5年4月1日	36,000円	13,500円	令和5年3/29(水)16時	令和5年3/31(金)

## 【補償期間と申込締切スケジュール】

補償期間: 令和5年1月1日 ~	令和6年1月1日
補償期間: 令和5年2月1日 ~	
補償期間: 令和5年3月1日 ~	
補償期間: 令和5年4月1日 ~	

\*掛金のご入金が確認できた時点でお申込み手続きが完了となります。余裕をもったお申込み手続きをよろしくお願いいたします。

**前契約ご加入の会員先生へのお願い** 本制度は、日本医師会会員を対象とした任意加入契約のため、令和5年1月1日以降も引き続きご加入を希望される場合には、改めてご加入申込手続きが必要になります。(自動的に契約更新とはなりませんのでご注意ください。)

## 加入手続きの流れ ※WEB申込みのみの対応となります。

保険加入手続きは、日本医師会ホームページ内の申込専用WEBページから行います。(右記の二次元バーコードからアクセスできます。)

※制度内容を説明した動画もございますので、是非ご確認ください。

上記加入申込みスケジュールを参考に手続きをよろしくお願いいたします。



- STEP 1** 申込専用WEBサイトに必要項目を入力  
※入力完了後、登録したメールアドレスに申込受付完了メールが自動送信されます。
- STEP 2** 請求書案内メールが届き次第、掛金を振込  
※申込手続き後、翌営業日を目安に請求書案内メールが届きます。届き次第、請求書をダウンロードし、掛金入金締切までに指定の銀行へ振込手続きをお願いします。
- STEP 3** 手続き完了メールが届き、加入手続き完了  
※掛金の入金を確認でき次第、手続き完了メールが届きます。加入証明書をダウンロードし、大切に保管願います。

### ●制度概要について



## 補償金請求時の書類等

- 以下の3種類の書類をご提出いただきます。
  - ①保険金請求書(保険会社所定フォーム)\*1
  - ②直近の決算書類の写し(法人単位、個人事業主の場合は青色申告書の写し)
  - ③休業証明書\*2
- \*1 保険金請求書は、引受保険会社へ事故報告の連絡を入れた際に保険会社よりメールにてご案内します。
- \*2 休業証明書は、日本医師会内ホームページに掲載しております。必要項目を記入の上、ご所属の都道府県医師会または郡市区医師会にて署名・捺印を取付け、保険会社へ提出します。
- ※その他に負担した費用(消毒に要した費用、検査受診のために支出した交通費や隔離期間中の宿泊費用等)についても補償金請求の対象となるため、追加資料の提出が必要な場合があります。
- 受け取ることができる補償金の概算見込みについては、日本医師会ホームページに掲載のシミュレーションシートより算出できますのでご参照ください。

このチラシは、新型コロナウイルス感染症対応日本医師会休業補償制度の概要についてご紹介したものです。

ご不明の点がございましたら、下記お問い合わせ先までお問い合わせください。

※詳細につきましては、日本医師会ホームページをご覧ください。インターネットにて『[令和5年1月始期]新型コロナウイルス感染症対応 日本医師会休業補償制度』で検索ください。

お問い合わせ先	<b>日本医師会休業補償制度 事務局</b>	本制度全般に関するお問い合わせ先	保険料振込み全般に関するお問い合わせ先
		Tel:03-3243-8982 mail: jmabi2020@web-tac.co.jp	Tel:03-6704-4016 mail: 2020jmabi@tokio-mednet.co.jp